

令和7年1月31日（金）

校 長

委 員 元森ノ宮医療学園校長（元大阪府立高校校長）、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、教務主任、教務部副主任（情報）、生徒指導主事、
生徒指導部副主任（自治会）、進路指導主事、保健主事、各学年主任、書記

1 会長、校長 挨拶

2 報告

＜令和6年度学校評価について＞

学ぶ力・人間力・地域・グローバルリーダー・ティーム力について多くの面で目標を上回ることができた。今年度改革した専門コース制は、まだまだこれからの部分もある。来年度以降に期待している。ホームページの活用については目標を上回る結果であった。また、グローバルリーダーの育成として、本校の特色である「国際交流活動」が活動再開してきたことは、学校教育自己診断の肯定率向上につながった。

＜授業アンケート結果について＞

すべての項目で昨年度から肯定率が向上した。組織的な授業力向上に向けた取り組みと教員個人の努力の賜物である。平均がほぼ 3.5 ということは、すべての生徒が 4 か 3 をつけているということで、素晴らしい結果である。

＜学校教育自己診断＞

- ・生徒、保護者、教職員とも多くの設問において肯定率が向上した。
（「学校教育自己診断結果と分析」に基づき報告）

3 協議

＜令和7年度学校経営計画について＞

委員による承認

4 本年度の取り組みについて

＜授業改善の取り組みについて報告をおこなう＞

1 授業力向上等検討委員会の活動

2 授業公開の取り組み

- ① 保護者への授業公開
- ② 府立高校全体にむけた LGH 公開授業週間の設定
- ③ 授業相互見学期間兼 10 年経験者・初任者公開研究授業 LGH 公開授業の設定

3 来年度の活動

今年度と同様府内に全授業公開。

<地域連携の取り組みについて>

文化部を中心に活動している。今年度から下足室のモニターで地域連携の紹介（スライドショー）を1週間流したのが肯定率の増加につながった。→学校教育自己診断で去年より10%増加。

<生徒指導状況について>

1 遅刻について

昨年度よりやや増加。理由のない遅刻を減らしていきたい

2 服装について

冬になると、スカートの下からジャージを履いたり、ブレザーの襟の上にブラウスの襟を出したりする生徒がおり、指導をしている。身だしなみの声掛けは引き続き粘り強くしていきたい。

3 挨拶について

自治会・風紀厚生委員と協力して遅刻防止週間と合わせて朝の挨拶運動を実施した結果、生徒自ら教員・友人への挨拶する生徒が増えた。

<学校行事（体育祭・文化祭）について>

4 来年度の取り組みについて

体育祭：スケジュールの確認・競技の見直しを現在検討中。

文化祭：体育祭より盛り上がらないことが課題である。

<77期生進路状況について>

- ・在籍数が去年より少ないが、現在のところ合格者の合計は変わらない。
- ・共通テストは、国公立希望している生徒には慣れている問題傾向だが、私立志願者には難しく感じられる問題であった。
- ・新しく新設された「情報」の校内平均点が高いのは受験者数が少ないことが影響している。

<各学年の状況について>

3年生

- ・本日で3年生の授業が終了。
- ・年内に進路を決めたがる生徒が依然多い。
- ・近畿大学や龍谷大学（公募推薦）が人気。
- ・半分弱の生徒は共通テストを受験した。後期選抜まであきらめずにチャレンジするように声掛けしている。

2年生

- ・中だるみを懸念していたが4月に比べると集中している生徒たちが多い。来年受験なので、勉強第一で頑張ってもらいたいと集会等で声掛けした。
- ・コツコツやるタイプが多いため期待している。

5 その他

- ・地域としても学校の活動を支えていきたい。
- ・学校で先生方はよく頑張っている。感謝している。
- ・保護者として自分の子供（3年生）を見ていて、様々な困難を自分で乗り越えて成長したことを実感している。先生方は見守り支えてくださった。感謝している。
- ・コロナの3年間で、それぞれの学年の生徒がその時期に成長するべきであった段階を欠いている。見守り支える必要がある。

- ・ 中学校では、生徒同士のトラブルについての学校の対応について保護者のクレームが目立つ。従来に比べて低年齢化しているように感じる。
- ・ また、中学校ではコロナ３年間の影響なのか、不登校が増えている。